



鉄道高架化通信



第53号

令和7年5月発行

発行：豊田市建設部街路課

～教えて現場監督さん（株）大林組編～

逢妻男川渡河部の桁架設について

逢妻男川渡河部の橋桁を架ける工事が行われています。本事業において、川に架かる唯一の橋りょうであり、長さは事業区間の中でも最大級の約40mです。（他の桁架設箇所：長さ20m前後）



令和7年4月2日撮影



緑色の桁は何ですか。



現場監督

緑色の桁は、橋桁を架けるための仮の桁で「架設桁」と言い、最初に架設桁を架けます。橋桁は架設桁の上ののせて豊田市駅方から知立駅方に向かってスライドさせ、河川上に送り出します。このような工法を「送り出し架設」と言います。



送り出した橋桁をどのように架設桁から下ろすのですか。



架設桁の両側に黄色の門のようなものがあります。これを「門型リフター」と言います。このリフターで、橋桁を吊り上げ、横にスライドさせ、架設桁の横に下ろします。これを「横取り」と言います。なお、架設桁は橋桁を送り出した後に撤去します。

市道旧名岡線（若林3号踏切）の夜間通行止めについて

期 間：令和7年5月中旬～6月上旬（予定）うち15日
※詳細は現地案内看板をご覧ください
時 間：午後10時から翌午前6時まで
規制内容：車両通行止め ※歩行者通行可能
場 所：若林3号踏切
内 容：桁架設
施 工 者：矢作建設工業（株）



ちょっと途中下車

～「編集後記」12年間の感謝を込めて～

今シーズン最強の寒波が襲来し、各地で高速道路の通行止めが相次いだ2月7日の夜、若林1号踏切付近では工事用の架設桁の送り出しの準備を行っていました。照明に照らされた架設桁が知立駅方から少しずつ動き出し、日付が変わったころには豊田市駅方へ到達しました。架設桁とはいえ、交差道路上空に桁が架かり、一步一步まちが変わっていく様子を目に焼き付けていました。

私は、都市計画決定前の平成25年度に本事業の担当となり、それから12年間、業務に携わってきました。令和5年3月の仮線切替、5月の本線工事着手と節目節目で感慨深い気持ちをいただいていた。

特に印象深いのは、若園小学校の通学路変更です。若園跨線橋の撤去に伴い、生徒の皆さんが踏切を渡ることになりました。安全なルートや交通安全対策について多くのご意見をいただいた末に、先生方やPTA役員の皆さんと議論を重ね、今のルートとなりました。炎天下の中で立哨を行ったのも今では良い思い出です。あの時私たちが心配しながら見つめていた1年生の皆さんが、この春6年生になり、下級生を連れて登下校すると思うと時間の経過を実感します。

また、鉄道高架化通信を自治区事務所に届ける度に、役員さんと工事進捗や交通規制の話題になります。そこでいただく質問が次の通信のネタとなり、皆さんに周知されることも多々ありました。メールや電話で感想をいただいたこともありました。地域の皆さんに読んでいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

地域の皆さんとふれ合い、まちの移り変わりを感しながら仕事ができ、幸せな12年間でした。本当にありがとうございました。私はここで、ちょっと途中下車することになりましたが、この通信は次の担当者により最新の情報をお届けしますので、引き続きよろしくお願いいたします。（創刊号～53号担当者：Y.S）

事業スケジュール

① 用地の取得

② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

⑤ 仮線への切替
令和5年3月

⑥ 高架本体工事開始
令和5年5月

⑦ 高架本体への切替
令和8年3月 予定

⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了

問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp